

日程	『いたるところでマンモス展』プログラム一覧	開催場所	掲載頁
10月～2月	プロジェクトM	4階 S&C工房	P4
11月23日～2月23日	特別展『マンモス展』	3階 企画展示室	P6
11月23日～2月23日 (12月15日、1月19日を除く)	マンモスの大きさを体験しよう	5階 オープンラボ	P7
11月23日～2月23日	絵本『マンモスのしっぽ』の世界を体験しよう!	5階 基本展示室	P11
11月23日～2月23日	未来の乗り物UNI-CUBに乗りよう!	5階 基本展示室ロボクシア前	P16
11月23日～2月23日	マンモスをもっと知ろう!	4階 サイエンスナビ	P17
11月23日・30日・ 12月7日・8日・14日・15日・21日	“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう! パート1	4階 S&C工房	P16
11月30日・12月1日	ケナガマンモスをつくろう	5階 オープンラボ	P9
12月4日～3月2日	ドームシアター大型映像番組『アイスエッジ』	6階 ドームシアター	P3
12月6日	マンモスがいた時代の気候	4階 サイエンスナビ	P9
12月7日	アトラトルと火おこし体験～マンモスがいた頃の人の暮らし～	大濠高等学校グラウンド	P12
12月14日・15日	みんなでマンモスに大変身!! ～ダンボールワークショップ～	4階 交流室1	P7
12月15日	ゲノム(DNA)って何?～生きるしくみと歴史物語～	4階 実験室2	P15
12月16日	生きもの・私・自然(生命誌の世界観)	6階 サイエンスホール	P14
12月21日・22日	『いたるところでマンモス展』応援大使になって ①オリジナル探検地図をつくろう! ②宣伝CMをつくろう!	4階 実験室2	P2
12月21日・2月15日	科学館オリジナル絵本『マンモスのしっぽ』ほか	4階 サイエンスナビ	P8
12月24日～1月6日	『いたるところでマンモス展』クイズラリー ～福岡市科学館運営サポーターからの挑戦状～	5階 基本展示室内	P17
1月土・日・祝	燃えるのはなぜ?	4階 実験室	P12
1月～2月	キバを持つ生きものたち	5階 基本展示室	P10
1月2日～5日	マンモスまであて!～てこの原理を体験しよう～	6階 サイエンスホール	P10
1月4日・5日・12日・18日・19日・25日	“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう! パート2	4階 S&C工房	P16
1月6日	最後のマンモスはオーロラを見たか～絶滅の謎～	6階 サイエンスホール	P15
1月18日	いとうせいこうさん×近藤洋一さんによる対談!	6階 サイエンスホール	P5
1月18日	絵本『マンモスとくらすには』ほか	4階 サイエンスナビ	P8
1月19日	マンモスゾウとナウマンゾウ～ゾウの進化と氷河時代～	6階 サイエンスホール	P5
2月土・日・祝	キラキラ! 雪の万華鏡をつくろう	4階 実験室	P3
2月1日・2日・8日・9日・15日・16日・22日	“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう! パート3	4階 S&C工房	P16
2月15日・16日	マンモスがうごく ひびのこづえ×藤村港平×川瀬浩介	6階 サイエンスホール	P13
2月16日	マンモスをつくろう	4階 交流室1	P14

※プログラムの開催日時・開催場所については変更になる可能性があります。変更内容や詳細は、公式HPにてお知らせいたします。

■チケット 3階総合案内/チケットカウンターにて、9:30より当日分すべてのチケットを販売しております。

基本展示室			ドームシアター(プラネタリウム)一般番組		
	個人	団体	個人	団体	
大人	510円	460円	大人	510円	460円
高校生	310円	280円	高校生	310円	280円
小・中学生	200円	180円	小・中学生	200円	180円

●未就学児については無料です。●障害者手帳等の提示者本人と介護者1名までは無料です。

※団体利用は30名以上となります。※企画展示室・ドームシアターのスペシャル番組等は料金が異なります。※料金はすべて税込金額です。※料金や減免の詳細はホームページをご覧ください。

■年間パスポート

大人	高校生	小・中学生
3,060円	1,830円	1,020円

●年間パスポートでは、基本展示室とドームシアターをご利用いただけます。
●ドームシアターは一般番組を1日1回のみご観覧いただけます。

※企画展示室、ドームシアターのスペシャル番組等は対象外です。

※料金はすべて税込金額です。



アクセス
福岡市地下鉄七隈線六本松駅(科学館前)3番出口より徒歩すぐ
西鉄バス「六本松」バス停より徒歩すぐ
※専用駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

開館時間 9:30～21:30

基本展示室 9:30～18:00(入場は17:30まで)

ドームシアター 詳しくはホームページの放映スケジュールをご覧ください。

毎週火曜日および年末年始(12月28日～1月1日)

●火曜日が祝日の場合開館し、翌平日を休館

●春休み、GW、夏休み、冬休み(年末年始を除く)期間中は毎日開館

いたるところで マンモス展

2019年 11月23日(土・祝) >>> 2020年 2月23日(日・祝)



いたるところで

マンモス展

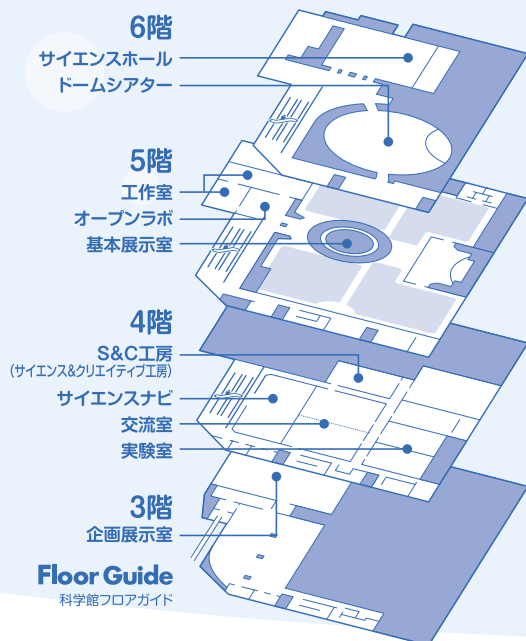
2019年 11月23日(土・祝) 2020年 2月23日(日・祝)

福岡市科学館では『マンモス展 その「生命」は蘇るのか』の開催を記念して、マンモスが生きていた時代の「暮らし」や「地球環境」って現代と何が違うかな？

科学館オリジナル企画『いたるところでマンモス展』を実施します。
マンモスについてたくさん学んで「私たちの未来」について考えてみよう！

秋・冬の科学館ではイベントがたくさん！

『いたるところでマンモス展』の楽しみ方！



それぞれのプログラムは
オリジナル絵本
『マンモスのしっぽ』の
世界に沿って展開されています。
絵本を読みながら、
気になるイベントに
参加してみよう。



【協力：株式会社教育と探求社】

『いたるところでマンモス展』応援大使になって

①オリジナル探検地図を
つくろう！

②宣伝CMをつくろう！



『いたるところでマンモス展』のおもしろさや楽しみ方を伝える『いたるところでマンモス展』応援大使として、たくさんの人に楽しんでもらおう！

Data ④ 2019年12月21日・22日
④ 4階実験室2 ※要事前申込
※詳細はHPでご確認ください



科学館の『いたるところ』に30のプログラムが展開!!



絵本イラスト横典子

1 オリジナル絵本

科学館オリジナル絵本
『マンモスのしっぽ』が楽しめます。

2 テーマ

ストーリーごとのテーマと、
テーマに沿ったプログラムが
用意されています。

3 スタンプ

プログラムに参加するとスタンプが貰えます。
スタンプラリーに挑戦しよう！



5つ集めたら
科学館スタッフに
声をかけてね！

『いたるところでマンモス展』監修者紹介

シベリア及びアラスカの永久凍土地域で多発する森林火災が地球温暖化へ与える影響について、現地での長期観測を行いその結果から将来予測を行っている。また火災の早期発見とその抑制法の開発についても、日本・ロシア・アメリカとの国際共同研究を推進している。



いたるところでマンモス展
監修
ふくだ まさみ
福田 正己氏

1944年 埼玉県浦和市生まれ
1967年 東京大学理学部地学科卒業
1972年 東京大学大学院理学系研究科博士後期課程修了(理学博士)
1973年 北海道大学助手(低温科学研究所)
1977年～1979年 カルフォルニア大学デビス校客員研究員
1985年 北海道大学講師(低温科学研究所)
1986年 北海道大学助教授(低温科学研究所)
1990年 北海道大学教授(低温科学研究所)
1995年～1998年 東京大学理学系研究科大学院流動講座 併任教授
1999年 放送大学 客員教授
2007年～2010年 アラスカ大学国際北極圏研究センター 教授
2011年～2015年 福山市立大学 都市経営学部 教授
現在 北海道大学名誉教授・福山市立大学名誉教授

<専門領域> 地球環境学 寒冷地域環境学 保存科学 地盤工学



マンモスのしっぽ

ゆき 雪がたくさん降る 寒いところで
マンモスの仲間たちから 迷子になった
ちい 小さなマンモスを み 見つけたんだ



ボクは マンモスと
しばらく暮らすことにしたんだ



ケナガマンモスが暮らしていた環境を知ろう!



キラキラ! 雪の万華鏡をつくろう



くるくる回すと、模様がいつでも雪の結晶に見える!? オリジナルの万華鏡をつくろう。どこに秘密があるのかな?

Data ⑤ 2020年2月土・日・祝 ④ 4階実験室
※当日整理券を配布します ※詳細はHPでご確認ください



ドームシアター大型映像番組 『アイスエイジ』



今から2万年前、地球の大部分は氷河や分厚い雪に覆われていました。2007年と2008年に相次いで発見されたマンモスを魅了させながら、氷河時代を描いた番組です。番組の詳細はP18へ。

Data ⑤ 2019年12月4日～2020年3月2日 ④ 6階ドームシアター
※ドームシアターのチケットが必要です ※詳細はHPでご確認ください



アイスエイジ観覧券が
スタンプの代わり
になります。



【協力:フジテレビジョン】

プロジェクトM



Data
⑤ 2019年10月～2020年2月
④ 4階S&C工房
※詳細はHPでご確認ください



どうすれば“科学のおもしろさ”を伝える展示をつくることができるか? をワークショップの形式で学ぼう。学んだあとは、今度は自ら『マンモス展』のおもしろさを伝える展示をつくらせて人に分かりやすく伝えよう。



マンモスのしっぽ3

なが
マンモスは はながとっても長い、キバもある
おお
でも、みみはゾウみたいには大きくない
け さむ ゆき み まも
この毛は寒さと雪から身を守るため

テーマ

マンモスの過去・現在・未来を知ろう!



【作家・クリエイター】

【野尻湖ナウマンゾウ博物館館長】

いとうせいこうさん × 近藤洋一さんによる対談!



いとう せいこう氏



近藤 洋一氏

『マンモス展』の展示構成監修のいとうせいこうさんと、古生物学監修の近藤洋一博士による『マンモス展』をテーマにしたトークイベントを開催します。

Data 2020年1月18日 6階サイエンスホール ※詳細はHPでご確認ください

科学館 6階 サイエンスホール



【野尻湖ナウマンゾウ博物館館長 近藤洋一】

マンモスゾウとナウマンゾウ

～ゾウの進化と氷河時代～

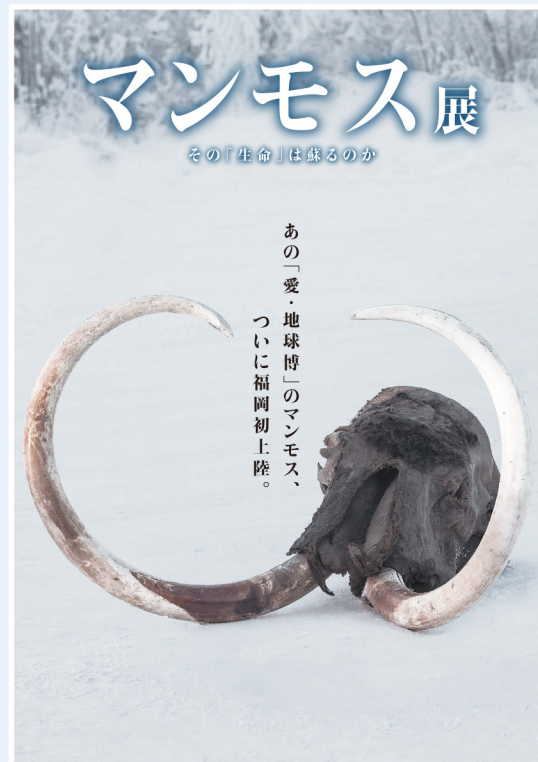


第22次野尻湖発掘(2018年)

長野県野尻湖で数多く発掘されているナウマンゾウ。野尻湖発掘を通して氷河時代と人類について考えます。九州から見つかったマンモスの仲間ナウマンゾウについても紹介します。

Data 2020年1月19日 6階サイエンスホール ※詳細はHPでご確認ください

科学館 6階 サイエンスホール



【主催：福岡市科学館、テレビ西日本、西日本新聞社】

●2019年11月23日～2020年2月23日 ●9:30～18:00 ●3階企画展示室



2005年「愛・地球博」で700万人が熱狂した「ユカギルマンモス」。この冬、冷凍状態で福岡市科学館にやってきます! ほかに、4万年以上前の「仔ウマ」の冷凍標本や、「バイソン」など、世界初公開となるものもあり、まさに史上最大規模の「マンモス展」となります! ロシアの永久凍土から発掘された太古の生物をこの機会に是非、ご覧ください!

入場料: 一般1,200円(1,000円) 高校生・大学生1,000円(800円) 中学生以下4歳以上500円(300円)

※()は前売料金及び30名以上の団体料金 ※4歳未満は無料 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(以上の手帳所持者本人と介護者1名)、特定医療費(指定難病)受給者証、特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人は無料

『マンモス展』監修者紹介

展示構成監修: いとうせいこう(作家・クリエイター)

生命科学監修: 松本和也(近畿大学大学院部長 / 生物理工学部教授)

古生物学監修: 近藤洋一(野尻湖ナウマンゾウ博物館館長)

セミヨン・グレゴリエフ(サハ共和国「マンモスミュージアム」館長)

主催/福岡市科学館、テレビ西日本、西日本新聞社 企画制作/フジテレビジョン 企画協力/日本科学未来館 特別協賛/家庭教師のトライ 後援/文部科学省、福岡市教育委員会、福岡県、福岡県教育委員会、福岡県保育協会、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡市私立幼稚園連盟、福岡市保育協会、福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福岡市タクシー協会、西日本鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、日本旅行業協会 協力/ロシア連邦サハ共和国、サハ共和国科学アカデミー、ロシア北東連邦大学北方応用生態研究所、近畿大学生物理工学部、近畿大学先端技術総合研究所、野尻湖ナウマンゾウ博物館



マンモスはいっぱい食べる
草とか、草とか、草とか…



マンモスの気持ちになってみよう!



[協力:九州産業大学造形短期大学部]

みんなでマンモスに大変身!!

～ダンボールワークショップ～



ダンボールを使って、マンモスのお面をみんなでつくろう。そのあとは、マンモスに変身して科学館内をノシノシ歩こう。

Data 日 2019年12月14日・15日 場 4階交流室1
※要事前申込 ※詳細はHPでご確認ください



[協力:九州産業大学造形短期大学部]

マンモスの大きさを体験しよう



ダンボールでつくった実物大のマンモスとアフリカゾウが出現します。マンモスとアフリカゾウの大きさを感じたり、それぞれの違いを見つけよう。

Data 日 2019年11月23日～2020年2月23日(2019年12月15日、2020年1月19日を除く) 場 5階オープンプラ
※自由見学 ※詳細はHPでご確認ください



ボクとマンモスは いつも一緒
散歩のときも 寝るときも 水遊びするときも
しっぽのリボンは 仲良しのしるしなんだ



マンモスと仲良くなろう!



絵本『マンモスとくらすには』ほか



小さな女の子とマンモスが仲良くくらしていくためには、どんなことが必要なのかな。大切な友だちの気持ちに寄り添いながら過ごしていくことの大切さを知ろう。

Data 日 2020年1月18日 場 4階サイエンスナビ
※当日自由参加 ※詳細はHPでご確認ください



[協力:福岡市科学館運営サポーター]

科学館オリジナル絵本『マンモスのしっぽ』ほか



迷子の仔マンモスと少年が出会い、別れ、再び出会ったときには…。人と生きものとの関わりあいの中から、未来に向けて何ができるか考えてみよう。

Data 日 2019年12月21日・2020年2月15日
場 4階サイエンスナビ ※当日自由参加
※詳細はHPでご確認ください



マンモスのしっぽ6



マンモスはどんどん^{おお}大きくなって おうちが^{せま}狭くってしまった
だからマンモスを ^{なかま}仲間のいる^{ひろ}広い世界へ^{せかい}帰すことに^{かえ}したんだ



マンモスとさよならして ボクはさびしかった

マンモスのことをもっと知ろう!



ケナガマンモスをつくろう

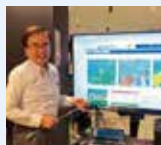


代表的なマンモスといえば、ケナガマンモスです。
一枚の大きなシートに描かれたマンモスにいろいろ
な素材をペタペタ貼って、親子ケナガマンモス
を完成させよう!

Data 日 2019年11月30日・12月1日 階 5階オープンラボ
※当日自由参加 ※詳細はHPでご確認ください



マンモスがいた時代の気候



マンモスが最後にいた時代は氷期と呼ばれ、地球のかなり
の部分が氷河や雪に覆われていました。どうしてこのよう
なことが起こるのか、現代の気候との比較から学びます。

Data 日 2019年12月6日 階 4階サイエンスナビ
※要事前申込 ※詳細はHPでご確認ください



マンモスのしっぽ7



ボクは^{おお}大きくなって ^{なかま}仲間たちと^{きょうりよく}協力して
^か狩りがうまくできるようになった



当時の人はどうやって狩りをしていたかな?



マンモスまとあて!

～てこの原理を体感しよう～



手で投げるよりも飛距離にして2倍以上、破壊力は
10倍ともいわれる革命的な狩りの道具「アトラトル」。
よく飛ぶ秘密、てこの原理を体感して考えよう。

Data 日 2020年1月2日～5日 階 6階サイエンスホール
※当日自由参加 ※詳細はHPでご確認ください



キバを持つ生きものたち



マンモスのキバは何のためにあったのだろう? 今生
きている動物たちにもいろいろなキバがあります。生
きものの多様な進化についてキバから考えてみよう。

Data 日 2020年1月～2月 階 5階基本展示室
※基本展示室のチケットが必要です ※詳細はHPでご確認ください





ある日、大きなマンモスの狩りに成功した
しっぽに仲良しのしるしがついたマンモスだった



マンモスと当時の人との関係について考えよう!



絵本『マンモスのしっぽ』の
世界を体験しよう!

タブレットで色や名前をつけたマンモスを、スクリーン上の絵本の世界に
登場させよう。マンモスと人がどのように関わっていたか考えてみよう。

Data 2019年11月23日～2020年2月23日 5階基本展示室
※基本展示室のチケットが必要です ※詳細はHPでご確認ください



ボクは生きていくためにマンモスを食べた
自分の力にするためにみんなと食べた



当時の人はどのように火を使っていたのかな?



燃えるのはなぜ?



火を手に入れた人。生活のさまざまな場面で使われてきた火。「燃える」とはどういうことだろう? ロウソクを使った燃焼実験で、ものが燃えるしくみを調べよう。

Data 2020年1月土・日・祝 4階実験室
※当日整理券を配布します ※詳細はHPでご確認ください



アトラトルと火おこし体験 ～マンモスがいた頃の人のくらし～



人が火を完全に使いこなすようになったのは、約40万年前。さまざまな方法で火をおこし、その火をコントロールしてみよう。「アトラトル」のすごさも体験できます。

Data 2019年12月7日 14時半～16時半(予定)
福岡大学附属大濠中学校・高等学校第2グラウンド ※要事前申込





マンモスのしっぽ 10

マンモスの骨は狩りの道具に マンモスの毛皮は着るものに
それらをととてもとても大切に扱った



マンモスを体で感じてみよう!



マンモスがうごく

ひびのこづえ × 藤村港平 × 川瀬浩介



Eテレの「にほんごであそぼ」で衣装とセットを担当しているコスチューム・アーティストひびのこづえがマンモスをテーマにパフォーマンスを上演します。

Data 日 2020年2月15日・16日 料 1,500円
場 6階サイエンスホール ※要事前申込
※詳細はHPでご確認ください



マンモスのしっぽ 11

ボクとマンモスだけじゃない
ケサイも バイソンも ホラアナライオンも
みんながかか
わりあいに
ながら生きている



生きものたちとのつながりについて考えてみよう!



[JT生命誌研究館館長 中村桂子]

生きもの・私・自然(生命誌の世界観)



私は社会に暮らす人間であると同時にヒトという生きものであり自然の一部です。マンモスも自然の一部。マンモスの絶滅を、私たちのこれからの生き方につなげて考えてみましょう。

Data 日 2019年12月16日 場 6階サイエンスホール
※要事前申込 ※詳細はHPでご確認ください



[コスチューム・アーティスト ひびのこづえ]

マンモスをつくろう



これまで、ひびのこづえが手がけた舞台衣装のはぎれや糸などを使って、マンモスをイメージしながらそれぞれのオリジナルのブローチをつくろう。

Data 日 2020年2月16日 料 1,500円(材料費込)
場 4階交流室1 ※要事前申込 ※詳細はHPでご確認ください



仔マンモスと写真を撮ろう!



5階基本展示室に
仔マンモスの
レプリカ登場!



※フラッシュ禁止



いつかボクも ^{ひろ}この広い世界と一つになるのだろうか
マンモスがボクと一つになったように



これからの未来について考えてみよう!



[北海道大学名誉教授 福田正己]

最後のマンモスはオーロラを見たか ～絶滅の謎～



ロシア(シベリア)を中心に生息域を広げたケナガマンモスは、大繁栄をしながらも、なぜ、絶滅したのだろうか。子どもたちの「なぜ」に答えながら、マンモスの絶滅の謎に迫る講演会です。

Data ①2020年1月6日 ②6階サイエンスホール
※要事前申込 ※詳細はHPでご確認ください



[JT生命誌研究館]

ゲノム(DNA)って何? ～生きるしくみと歴史物語～



地球上のたくさんの生きものはみなゲノム(DNA)をもつ仲間です。ゲノムとは何か、どんなはたらきをしているのか、私たちの日常と生きものの歴史のお話をします。

Data ①2019年12月15日 ②4階実験室2
※要事前申込 ※詳細はHPでご確認ください



[協力: Honda]

未来の乗り物UNI-CUBに乗りよう!



昔の人の移動は人力のみ。一方で現代の私たちにはさまざまな移動手段があります。体重移動で人の歩行のように自由自在に動けるUNI-CUBで未来の乗り物を体験しよう。

Data

①2019年11月23日～2020年2月23日 ②時12時～16時(各回10分程度)
③10分300円(レクチャー含む)
※別途、基本展示室の入場チケットの購入が必要です。
④5階基本展示室ロボスクエア前
※身長145cm以上かつ体重100kg未満、補助なく階段乗降できる方で妊娠・怪我等をされていない方、飲酒をされていない方が対象です



“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう!

“toio”は子どもたちをさまざまな創意工夫へと導く不思議なロボットトイです。
[協力: 株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント]



©2019 Sony Interactive Entertainment Inc.

パート1

“toio”にマンモスの紙工作を作っかぶせ、マンモスとマンモスを戦わせよう。どうやったらうまく動くかな?

Data

①2019年11月23日・30日・12月7日・8日・14日・15日・21日
②時①10時半～11時半②14時～15時 ③4階S&C工房 ※当日自由参加
※パート1は、“toio”専用タイトル「トイオ・コレクション」を使用しています。



パート2

“toio”にマンモスの紙工作を作っかぶせ、自分でマンモスをうまく誘導しよう。うまく捕まえられるかな?

Data

①2020年1月4日・5日・12日・18日・19日・25日
②時①10時半～11時半②14時～15時 ③4階S&C工房 ※当日自由参加
※パート2は、“toio”専用タイトル「工作生物 ゲズンロイド」を使用しています。



パート3

“toio”でプログラミングをして自分のマンモスを動かしてみよう。思い通りに動くかな?

Data

①2020年2月1日・2日・8日・9日・15日・16日・22日
②時①10時半～11時半②14時～15時 ③4階S&C工房 ※事前申込制
※パート3は、“toio”専用タイトル「GoGo ロボットプログラミング～ロジャーボのひみつ～」を使用しています。





マンモスをもっと知ろう!



絵本から専門書まで、マンモスに関わるさまざまな本を紹介いたします。1冊手にすると、そこからマンモスについて調べたくなることがたくさん出てくるかも?!

Data 日 2019年11月23日～2020年2月23日 場 4階サイエンスナビ ※自由見学 ※詳細はHPでご確認ください



科学館

4階



サイエンスナビ



『いたるところでマンモス展』クイズラリー ～福岡市科学館運営サポーターからの挑戦状～



参加するには
基本展示室の
チケットが
必要だよ!!

参加
方法

福岡市科学館で活躍している運営サポーターがつくったクイズに挑戦だ! 全問正解するとオリジナルマンモスグッズをプレゼント。

Data

日 2019年12月24日～2020年1月6日(休館日は除く)

時 13時～16時(ノベルティ配布時間)

場 受付・ゴール/5階基本展示室内(基本展示室4間、オープンラボ1間。

問題を全問解くには基本展示室のチケットが必要です)

対 どなたでも

- 1 まず、5階基本展示室にクイズラリーのシートをもらいに行こう!
- 2 5階基本展示室とオープンラボにクイズがあるよ!
- 3 クイズを見つけたら、問題を解こう!
- 4 クイズは全部で5問。全部解き終わったら基本展示室内のゴールへ行こう。ノベルティ受付時間は13時～16時。気を付けてね!
- 5 全問正解だったら、オリジナルマンモスグッズをプレゼント!



ドームシアター(プラネタリウム)

※番組・イベントの詳細は福岡市科学館ホームページをご覧ください。

季節の空
から

アンドロメダ銀河(M31)

アンドロメダ銀河は、伴銀河を除く私たちの地球を含む天の川銀河から最も近い銀河です。秋の星空、切り離された天の川のようなぼんやりとした天体として、アンドロメダ座の中に見ることができます。「近い」とはとってもその距離は230万光年。つまり、地球でヒト属の祖先が初めて石器を手にした頃に、アンドロメダ銀河を出発した光が、はるか230万年の時を超えて、今、私たちの目に届いているということになります。肉眼で見える最も遠い天体・アンドロメダ銀河。街明かりのないところで探してみませんか?

(文・井土)

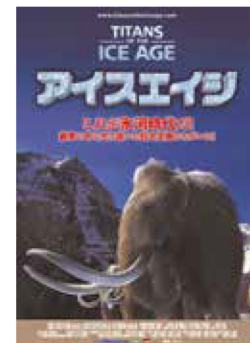


一般
番組

アイスエイジ

放映期間:2019年12月4日(水)～2020年3月2日(月)

大型映像史上初、氷河時代を描いたサイエンス・ドキュメンタリー映画。今から2万年前、氷河期にはマンモスをはじめとする巨大な動物たちが厳寒に適応しながら暮らしていました。そして現生人類も。この氷河期がどのように始まり、どのように終わっていったのでしょうか。近年発見されたマンモスのミイラや完全骨格「ゼット」を甦らせながら、氷河時代の大自然を舞台に物語は進みます。



© D3D Ice Age, LLC

※この番組はアメリカのコンピュータアニメーション映画『アイス・エイジ』とは異なります。



5階ミュージアムショップ

オリジナル商品『マンモスガム』 ～このマンモスは蘇るのか～

ひとつずつ丁寧に手作りされた噛み応え抜群のマンモスのガム! あなたの推しはどれですか?

11月下旬発売予定 300円[消費税込]



ドームシアターイベント STARRY NIGHT JAM 星降る南阿蘇～天文台LIVE中継～

開催日:2019年12月8日(日) 17:30～18:30

熊本県・南阿蘇ルナ天文台と福岡市科学館ドームシアターとを中継します。南阿蘇の星空、そして天文台で見ることができる望遠鏡映像などを生中継。どの天体が見たいか、皆様のリクエストにお応えする参加型コーナーもご用意します。※全周動画中継ではありません。

